

「次世代型教育」による人材育成を核とした 「あったらいいな」 実現プロジェクト



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



兵庫県加西市

加西市の特性

豊かな自然、育まれた歴史、深まる絆を活かして

ポイント①

生活の利便性もよい、自然と共存するまち

- 生物多様性・自然との共生
- 自然に囲まれたレクリエーション
- 災害が少なく、安定した気候
- 都市圏とのアクセスの良さ



▲市の中央と南端付近には高速道路のICが整備されており、大阪・神戸等の都市圏からの交通アクセスが良い。

ポイント②

製造業を中心とした“ものづくりのまち”

- 製造業の集積
- 製造業を中心とする高い技術力
- 災害リスクが低い立地環境



▲中小企業が中心であるが、日本だけでなく、世界でも高いシェアを持つなど、高い技術力や蓄積されたノウハウを持つ企業が多数立地しており、当市のふるさと納税は、工業製品の返礼品を主力として、2020年度に全国9位の受入額を記録している。

ポイント③

豊かな自然と歴史・文化

- 歴史遺産
- 鶉野飛行場跡と熱気球
- 豊かな農産物
- 魅力あふれるローカル鉄道



▲第二次世界大戦中に建設された鶉野飛行場とその周辺の戦争遺跡群では、平和学習の場として多くの方々が来訪されている。また、風が穏やかなことから熱気球飛行の適地となっており、戦後約75年以上が過ぎて、平和の象徴とも言われる気球が過去と現在の当市の空をつないでいる。

ポイント④

活発な地域活動と“協創のまちづくり”

- 加西市協創のまちづくり条例
- ふるさと創造会議
- 市政に対する関心や協働意識の高い市民性



▲当市は、明治の市町村制施行よりはじまった9つの町と村から構成されており、地域の結束力は今もなお強く、「加西市協創のまちづくり条例」に基づいて進められている小学校区レベルの地域団体「ふるさと創造会議」では、地域の独自性を反映した活動を住民主体で行っている。

加西市の課題

人口減少に伴う地域活力の維持確保

- 出生率の低迷
- 若者(特に若年女性)の流出
- 労働力不足・後継者不足
- 高齢化の進行によるコミュニティの維持



◀加西市ゆるキャラ ねっぴ〜

当市は約1300年前に編纂された日本最古の地誌である「播磨国風土記」ゆかりの地で、その文献に記された「根白女物語」をモチーフとしている。

自治体SDGsモデル事業の概要

地域課題の解決のため「正解のない問題に挑戦」しようと、「多様な他者と協働」し、「新しい価値を創造」できる人材を育成し、様々な主体が連携・行動することにより、人生100年時代に「選ばれるまち」を目指して産業・地域の活性化、脱炭素社会への移行などの地域課題を解決する「あったらいいな」を実現する。

経済	社会	環境
<p>課題 地域経済力低下への懸念 (労働生産性の向上、デジタル化の推進)</p> <p>● デジタル技術の活用推進 事業者の競争力、付加価値力、生産・販売力の拡大による経営基盤の強化を図るため、デジタル技術の積極的な導入促進を支援する。 → 新産業創出支援事業</p> <p>● 新産業創出、起業・創業・事業承継支援 中小・小規模事業者の事業拡大及び事業承継への取組支援や創業の育成支援など、新たな価値創造のためのイノベーションへの取組を進める。 → 「加西市サステナブルビジネスグランプリ」の開催 → 起業・創業スタートアップ支援事業</p> <p>● 魅力ある商業・サービス業の創出 SNSによる情報発信やEC・キャッシュレスへの対応などICTの活用を進め、新たな販路拡大や価値・品質の見える化、サービス提供プロセスの改善等を支援する。 → 地域通貨アプリ(デジタル地域通貨)の活用・連携強化</p>	<p>課題 出生率の低迷、子育て世帯の流出 (充実した生活環境づくりの推進)</p> <p>● 次世代型教育「加西STEAM」の推進 グローバルな社会の中で挑戦、協働、創造できる次世代を担う人材の育成をめざして、全国においても先駆けとなる「STEAM教育」を推進する。 → 詳細P5参照</p> <p>● 協創のまちづくりと民間活力の導入 市民、企業・団体に加えて、市外在住者(関係市民)等の参加・協力を得て、多彩な経験や知識を地域に呼び込み、新たなまちの魅力の創出を図る。 → 詳細P6・7参照</p> <p>● 健幸都市(スマートウェルネスシティ)実現への取組 少子高齢化・人口減少が急速に進む中、高齢になっても地域で元気に暮らせる社会を実現するために「健幸=健康で幸せ」づくりを支援する。 → 運動ポイント事業 → 健幸都市推進事業</p>	<p>課題 脱炭素社会に向けた取組の停滞 (省エネ設備の導入、環境保全活動の推進)</p> <p>● 市民、事業者の地球温暖化対策への機運醸成 市民や事業者の地球温暖化対策に対する理解を深めつつ、様々な情報を戦略的に発信・共有するとともに、啓発イベントを企画し、「エネルギーの地産地消が実現された脱炭素のまち 加西」の実現に努める。 → 普及啓発活動事業・子どもの環境教育事業</p> <p>● 省エネ・再エネ設備の導入拡大 自立・分散型エネルギーシステムの構築を推進するとともに、再生可能エネルギー設備や蓄電システムの導入支援を展開し、エネルギーの地産地消を実現するための基盤の形成を図る。 → 加西市スマートグリッドの拠点(コアセンター)の整備 → 民間事業者との連携によるマイクログリッド → 全公共施設の脱炭素化・EV化促進 → 再エネ促進区域設定に向けたゾーニング事業 → 創エネ・蓄エネ設備設置費導入補助事業 → 脱炭素化設備等導入促進事業</p>
<p>新しい価値の創造へ！ 活力とにぎわいのあるまち</p>	<p>ともに活躍！ 生涯にわたって暮らしを愉しめるまち</p>	<p>豊かな環境を次世代へ！ 「地域循環共生圏」が実現されたまち</p>

<加西市のめざす将来像> **大空に夢がふくらむ「未来の田舎」**

「加西STEAM教育」で未来を拓く 協創のまちづくり事業

1 「加西市SDGs認証制度」の創設



市民や企業・団体を対象としたSDGs認証制度を協議会の議論を踏まえて創設し、SDGsの普及啓発を行うとともに各々で取組計画を設定・実践することによって、地域全体でのSDGs達成にむけたムーブメントを生み出すことを目的とする。

メンバー	個人	企業・団体
認証条件	SDGs17目標のうち、今後1年間に達成しようとする脱炭素社会に向けた目標1つとその他の目標1つを個人目標として設定し、その成果指標（KPI）を作成すること。	SDGs17目標のうち、今後3年間で達成しようとする脱炭素社会に向けた目標3つとその他の目標3つを企業・団体目標として設定し、その成果指標（KPI）を作成すること。

2 総合的プラットフォームの設置



SDGsの達成に向けて取り組んでいる、または関心を持っている市民や企業・団体が集う場を構築することで、各々の自主的な取組を促進するとともに、当市の課題解決へ踏み出す自律的な組織へと昇華することを目指す。

メンバー	「加西市SDGs認証制度」で認証を受けた会員
活動内容	(1) SDGsの達成に資する情報発信 (2) 会員の交流及び連携に資する活動 (3) 市民に向けたSDGs普及啓発活動

3 デジタル地域通貨アプリの活用・連携強化



地域通貨アプリ（デジタル地域通貨）を活用してマネーチャージやポイント運用を行い、地域通貨が域内で循環する仕組みづくりに取り組み、キャッシュレス決済の推進、決済手数料の軽減を図る。

ポイント付与対象事業例	各種イベントや環境保全・地域貢献活動への参加 運動ポイント事業 グリーンライフ・ポイント事業 市の各種補助事業
-------------	--

4 「協創のまちづくり」の推進

※詳細P5参照

5 「加西STEAM教育」の推進

※詳細P6・7参照

「協創のまちづくり」の推進

基本的理念 加西市協創のまちづくり条例（2020年1月1日施行）

「参画と協働」を基本に情報発信を強化し、住民等に加え、関係市民の参加・協力を促し、地域の課題解決や新たなまちの魅力の創出を図る。

ふるさと創造会議

小学校区レベルの地域団体「ふるさと創造会議」では、まちづくり計画書の策定や地域団体が運営する自家用旅客有償運送の導入、こども食堂の開催等、地域の独自性を反映した活動を住民主体で行っている。



総合政策会議

地域を代表する産学官金労言士老若女などの有識者で構成し、毎年、総合計画の進捗について担当者を交えた綿密な意見交換と評価・検証作業を行っている。



企業・教育機関等との連携

民間活力を積極的に取組み、市民サービス向上や地域活性化を図るため、包括的な連携協定を締結してきた。近年では地元を拠点とする団体に限らず、様々な団体との協定を結んでいる。



ワールド・カフェ（大規模ワークショップ）

2019年に開催したワールド・カフェでは高校生から70代まで幅広い年齢層の方約100名が参加し、市の課題や将来像について語り合った。



なにはじ加西コミュニティ

加西でなにかをはじめたい都市部の住民と、それを応援する加西市民を繋ぐコミュニティづくりを目指して、(一社)ユニテを中心に活動している。



NPO 法人ねひめカレッジ

日本語教室の運営や交流イベントの開催、外国人の児童生徒への授業サポート、病院での通訳サポート等を市と連携しながら取り組んでいる。



cocorone〈心根(音)〉

小中高校生らを対象に、「生きづらさ」などを感じている子どもたちの居場所づくりや、社会的な自立へのサポート、保護者への支援などに取り組んでいる。



かさい大スキ

地域の女性で結成され、加西市の魅力を発信する新聞の発行等、心豊かに楽しく暮らしていけるように活動している。



etc...



市政に対する関心 や 協働意識 の高い市民性

次世代型教育「加西STEAM教育」の推進①

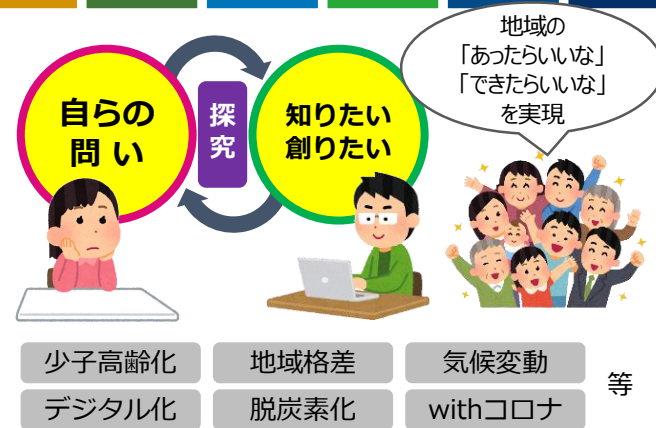
STEAM教育とは何か？

科学（Science）、技術（Technology）、工学（Engineering）、アート（Arts）、数学（Mathematics）の5つの領域を対象とした理数教育に創造性教育を加えた教育理念。知る（探究）とつくる（創造）のサイクルを生み出す、分野横断的な学び。

なぜ必要になるのか？

Society5.0社会が待ち受けている

文理融合・分野横断して考えないと解決に向かわない問題



これらの地域の問題を解決し、イノベーションを起こす人材が求められている

単一的な側面
だけでは解決しない

横断的・総合的・融合的



ICTを上手く活用
していかななくては解決しない

ICT活用



新たな価値を創造
していかななくては解決しない

デザイン思考



一人だけの取組
だけでは解決しない

他者との協働



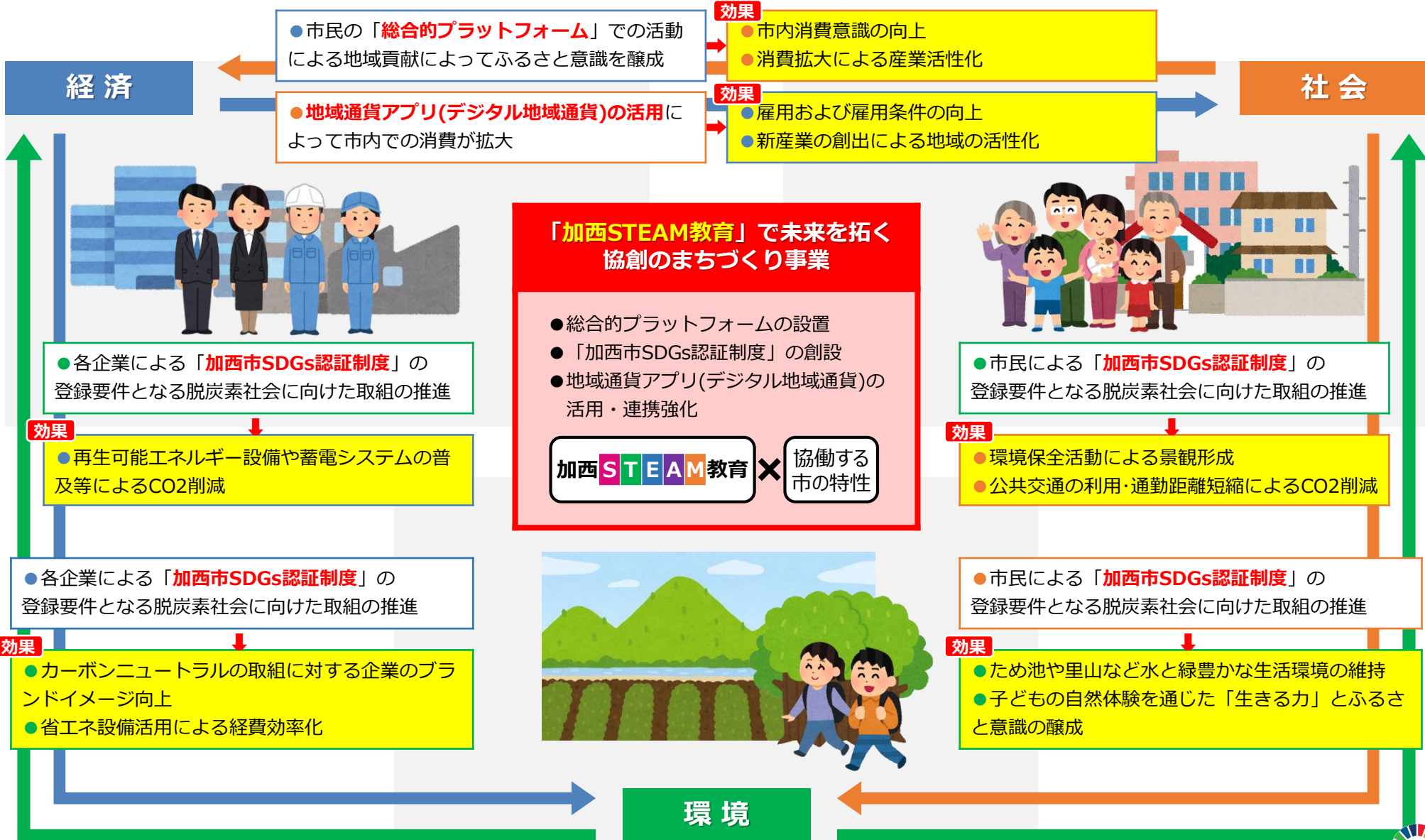
正解のない問題にチャレンジし、「あったらいいな」「できたらいいな」を実現していこうとする、
加西の未来を切り開く人材を育成しようとするもの

次世代型教育「加西STEAM教育」の推進②



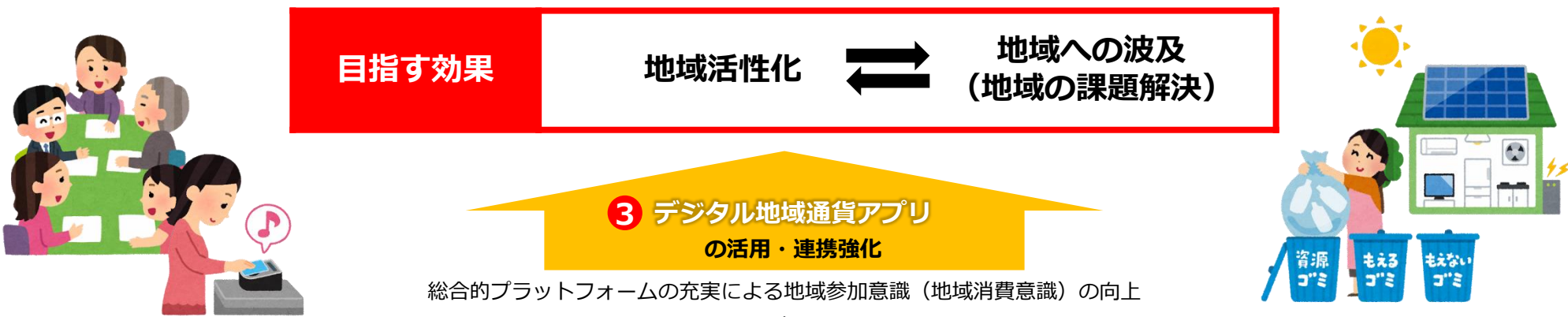
多様な主体と連携し、加西市の未来を拓く人材の育成を進めるとともに、
持続可能で活力あるまちづくりを目指す

経済、社会、環境の各側面の相乗効果（統合的取組によって生じる相乗効果）



自律的好循環の具体化に向けた事業の実施

「三側面をつなぐ統合的取組」の自律的好循環に向けたイメージ



SDGs認証制度の申請者が増えることで、脱炭素社会に向けた取組が活性化するとともに、総合的プラットフォームの参加者が増え、多様な参加者による様々な地域課題について検討することができる。

2 総合的プラットフォームの設置

継続的なSDGsの推進

1 「加西市SDGs認証制度」の創設

総合的プラットフォームでの様々な活動を情報発信することにより、SDGsの取組に興味が増え、認証制度の申請者が増える。

上記①②③を持続性のある効果的な取組として進展させていくためにベースとなるもの

4 「加西STEAM教育」の推進

- 正解のない問題の解決に挑戦できる人材
- 多様な他者と協働できる人材
- 新しい価値を創造できる人材



5 「協創のまちづくり」の推進

- 活発な市民の地域活動
- 多種多様な企業・団体等との連携
- 多様な関係人口の参加

大空に 夢がふくらむ「未来の田舎」



加西市のシンボルとして、鶉野飛行場跡を活用した平和ツーリズムや空を舞う色とりどりの熱気球による魅力発信など、「大空」をキーワードとした地域資源が挙げられ、このキャッチフレーズでは、当市の平和で穏やかな「大空」に、市民一人ひとりの彩り豊かな「夢」が気球のように「ふくらむ」まちを実現したいという想いを込めています。

また、新型コロナウイルス感染症の影響によって、新たな生活への対応が求められる今、デジタル技術の積極的な活用によって、都会から離れても働くことのできる場づくり、年齢や性別を問わず活躍する社会など、新たな時代の流れが生まれており、そのような未来への流れを積極的に迎え入れ、「田舎だけど、最先端」のまちを目指します。